

Aphaenogaster subterranea

(Latreille, 1798)

石の下に巣を作り、落ち葉の中で静かに狩りをする、細身で人目につかない森のアリで、甘い液体はしみ込ませた土の粒に載せて巣へ運びます。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

20-26 °C

巣の中



巣の湿度

50-65 %

巣の中



休眠

8-12 °C

11月 - 2月



結婚飛行

7月 - 9月



働きアリ

3-5 mm

どれも同じ大きさ



女王

7-8 mm

女王は1匹



コロニーの規模

働きアリ2,000匹規模

成長速度：普通



脱走リスク

低い

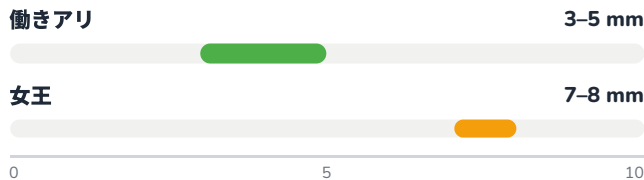
おとなしく、めったに脱走しません

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

昆虫

砂糖

おすすめの巣

- Ytongの巣
- 自然再現型のセットアップ
- サンドイッチ型の巣

この評価の理由

- ✓ おとなしく、めったに脱走しない働きアリ
- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 働きアリが刺すことがあります

飼育者からのメモ

ヒント

若いコロニーには辛抱強く付き合いましょう。成長はゆっくり始まり、最初の数か月はほんの数匹の働きアリしかいないという報告が飼育者から寄せられていますが、コロニーが落ち着くと成長が速まります。

注意

巣全体を乾燥させたり、極端な状態の間で大きく揺らしたりしないでください。この種は湿った日陰の森にすむ種で、ドイツのアリのデータベースには、乾燥させすぎるとコロニーの成長が遅くなると書かれています。ブルードのために湿った場所を用意しましょう。